

行事予定 今月のイベントをご紹介します

2(土)	第16回 わくわくウォーキング (集合8:30~9:00 ちりゅっぴの庭)
21(木)	弘法命日 (旧暦10月21日 弘法通り通行規制)
24(日)	知立市長選挙及び知立市議会議員補欠選挙

知立市 LINE 公式アカウント



受信設定アンケートに回答すると、お得な情報が届くことがあります。

カタログポケット

10言語対応「広報ちりゅう」デジタルブックで配信中！

広報ちりゅうを多言語で配信中！

Delivering Multi Languages!

無料 FREE APP

This Public relations magazine can be read in 10 languages



輝くまち みんなの知立

知立市では、様々な視点で、ごみの減量化・資源化を推進しております。

そうした中、市民の皆様方のごみに対する意識を更に高め、ごみ減量化・資源化をより一層、推進していくため、キャッチフレーズを募集させていただきます。

知立市におけるごみ処理の状況を知っていただき、ぜひ応募していただければと思います。ご応募いただいた小中学生の皆様には、参加賞として、ちりゅっぴグッズを全員に差し上げます。(詳細は11ページをご覧ください。)

また、古着等につきましては、現在、一部の市内スーパーや薬局、不燃物処理場や八橋町井戸尻駐車場に資源回収ステーションを設置しています。このたび新たに、市内公共施設6か所(市役所、中央公民館、スギ薬局知立福祉アリーナ、図書館、保健センター、福祉の里八ツ田)においても、回収ボックスを設置しました。(詳細は14ページをご覧ください。)

これからも、「ごみ」ではなく「資源」として回収する取り組みに、ぜひご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

知立市長 林 郁夫



▲9月22日(祝)秋葉まつりをお店から見守るご夫妻

遺産に登録されてからは、観光客が増えましたね。

好子さん 一方でコロナ禍で数年間まつりが中止になったこともあったので、昨年からそれぞれのまつりが復活したことは非常に嬉しいです。

今年のお秋葉まつりについて

善彦さん 今年のハイライトはなんといっても宝町！練り歩きの後ろにすごい数の観客を引き連れて歩いて行った姿は感動しましたね。

好子さん 小さなお子さんたちが小さな玉箱を担いでおり、将来的にこの子たちが大きな玉箱を担ぐのかなと期待しながら見ていました。また、その中には女の子もいたため、新鮮さも同時に感じました。

取材を終えて(広報担当)

善彦さんは御年91歳(取材当時)。今でも読書や彫刻など多趣味で、チャレンジ精神旺盛です。ご夫妻ともにお話することが大好きで、お店に訪れた人との会話を絶やさないこともお元気の秘訣だと感じました。

伝統に対する想い

善彦さん 知立市のよいところは利便性がよく地盤がしっかりしているため災害が少ないところです。一方でまつり・からくり・浄瑠璃などそれぞれの伝統や文化もすばらしく世界にも誇れるレベルだと思います。この「知立の文化の色」は未来へも引き継いでぜひ残していただきたいと思います。



知立市民招待
市民先行販売
実施!

3年ぶりにリリオに帰ってくる!

寺井 尚子 ヴァイオリンカルテット ニューイヤージャズコンサート



時 令和7年1月12日(日) 午後3時開演(午後2時30分開場)

所 リリオ・コンサートホール

▼出演 寺井尚子ヴァイオリンカルテット
寺井尚子(ヴァイオリン)、北島直樹(ピアノ)、仲石裕介(ベース)、
荒山諒(ドラムス)

▼プログラム 当日をお楽しみに!

¥ (全指定席) リリオ友の会5,500円 一般6,000円

学生・特別席(車椅子スペース)3,000円 ※未就学児は入場不可

▼発売日 友の会:11月10日(日) 知立市民先行:11月15日(金)
一般:11月16日(土)

▼知立市民無料ご招待(30枚限定) 11月15日(金)午前9時から受付開始
※ホール窓口のみ取り扱い(先着順) ※申込み時に市民を確認できるものをお持ちください。
※知立市民ご本人のみ無料ご招待の受付の対象となります。

問 リリオ・コンサートホール(☎85-1133)



ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー 第6回「ぶらっと弥次喜多と行く 知立神社とあんまき編」

市内の観光名所や史跡などの見どころを観光ガイドボランティアと一緒に廻りませんか。

当日は、歩きやすい服装・靴の着用をお願いします。

時 12月7日(土) 午前10時~正午(予定) ※雨天時は中止

▼コース 知立神社鳥居前(集合)→神社参拝→「白蛇の話(紙芝居)」→於万の方像→多宝塔→「片目の鯉(紙芝居)」
→養正館→「あんまき池鯉鮒宿(お話とあんまき作り見学)」→小松屋(解散)

対 どなたでも(小学生以下は、保護者同伴) 定 10人(先着順) ¥ 無料

申 問 11月11日(月)~12月6日(金)に電話または直接知立まちづくり株式会社(リリオ・コンサートホール内
☎85-1133 木曜休館)もしくは観光交流センター(☎55-6302 火・水曜休館)へ。



特集 知立市民インタビュー 恵比寿屋陶器店

西町で100年以上続く陶器店を営む恵比寿屋陶器店の小久江善彦(おぐえよしひこ)さん・好子(よしこ)さんご夫妻。店舗前には東海道が通っており、市の伝統行事である「知立まつり」や「秋葉まつり」の際は、お店の前を山車を通ったり、玉箱を担いだ若衆が練り歩きを行ったりと多くの人でにぎわいます。今回は、長年「まつり」を見守ってきたご夫妻にお話を伺いました。

伝統行事を見守ってきた

善彦さん 一つの時代も頑張っている人の姿を見ることは見ていて楽しいです。「知立まつり」でいうと、町の人々から「知立神社まで絶対に山車を落とさないぞ」という強い意志を感じます。頑張っている人たちのために私たちが何かできないかと思いつき、少しでも道が明るくなるようにまつりの日は遅くまでお店の提灯をつけたままにするようにしています。

好子さん 毎年、まつりをこの「特等席」から見られることはすごく幸せなことです。町によっては、町外から人を集めて祭りを継続していると聞いています。それだけの思いで伝統を守っている町の人たちの姿をこれからも毎年見届けていきたいです。

善彦さん 最初の町から最後の町までを通して見ていると、だんだんと日が落ちて来ますし、毎年、通る町の順番が変わるので、それらもまた味があって楽しみの一つです。

好子さん まつり際には、国籍や地域を問わず、普段訪れることのない人々との関わりがあることもお店を続けていってよかったと感じますね。

善彦さん 「知立の山車からくり」が2016年にユネスコ無形文化

